

就労支援ネットワークについて
「たかつき・しまもと障がい者就労支援ネットワーク」
2019（R1）年度報告書

たかつき・しまもと障がい者
就労支援ネットワーク事務局

○立ち上げ当初からの仮説

地域に就労支援に精通した支援者が多ければ多いほど、その地域の就労支援は充実したものとなり、就労を望む障がいのある方の希望を実現できるのではないかと。

○基本コンセプト

出入り自由	他の地域の方でも大歓迎！
支援者のスキルアップ	インプットとアウトプットの場を設ける 実務担当者が顔の見える関係を築ける機会とする
圧力団体にしない	純粋な学びと交流の場とする

○将来像

ネットワーク（地域）がひとつの支援機関へ	スムーズな連携と効果的な支援の提供 高槻・島本地域の支援機関なら安心だという信頼
社会に認知されるネットワークへ	企業、地域からの信頼と参加

○実施方法

<運営会議>下記の運営委員にてネットワーク会議の内容について企画・運営（月1回程度）

1～4期	サニースポット、高槻地域生活支援センター、高槻市障がい者就業・生活支援センター（以下、就業・生活支援センター）	08年～11年
5～7期	サニースポット、高槻西部地活動支援センターステップ、就業・生活支援センター	12年～14年
8期～10期	サニースポット、芥川事業所、就業・生活支援センター	15年～16年
11期～	育成福祉会就労支援事業室、サニースポット、芥川事業所、就業・生活支援センター	17年～

<ネットワーク会議>下記の内容で実施

講演会	・他の地域で先進的に取り組まれている就労支援機関を中心に講師に招き学習する。 ・ディスカッションの機会を設け参加者同士がつながっていくことをねらう。	(月1回程度 5月～3月)
10分トーク	地域のネットワーク参加機関より10分程度のプレゼンテーションをして頂き、取り組み内容を共有する。また、発表の機会を提供することで発表者自身のスキルアップをねらう。	
情報提供	就労支援に関する制度、実習の機会など関係する情報をネットワーク会議にて提供する場とする。	
共有ツール	就労支援機関で共有できるツールを実行委員会制にて企画・作成。 09年支援者向けアセスメントツール集 10年いっぽ第1版(当事者向け社会資源集) 11年初任者向け教育ビデオ 12年いっぽ第2版 18年 いっぽ第2.1版(就労移行支援事業所のみ抜粋して更新)	随時

ワーキング チーム	就労ネット参加者が自主的に課題などに向けた取り組みを行う。 現在、精神、就労支援基礎講座など6ワーキングが活動中。	随時
情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページを作成し広報を行うことで地域から見えるネットワークとする。企業から雇い入れの相談や軽作業の受注、他の地域の就労ネットワークからの視察などの効果が得られた。 https://takashimanet.jimdo.com/ <ul style="list-style-type: none"> ・実施案内は参加機関にメール（5期の後半からはメールングリスト）にて送信。メールングリスト登録方法はHPに掲載 	随時

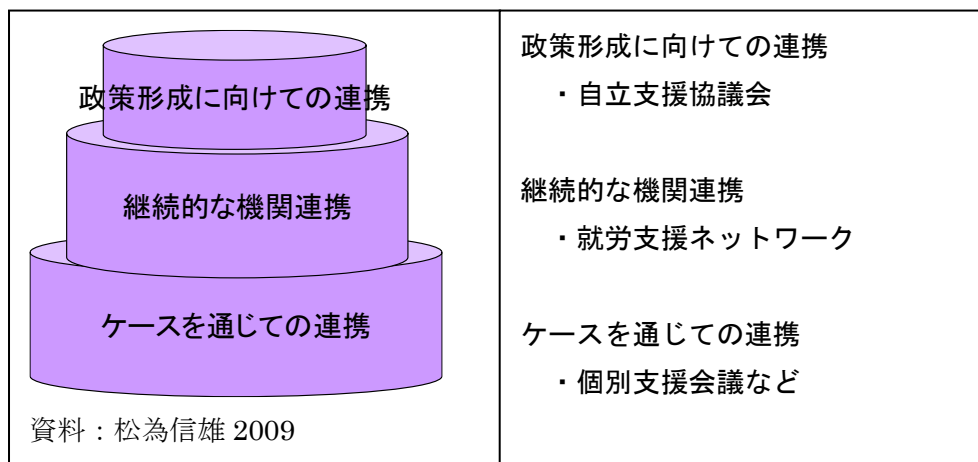
○たかつき・しまもと就労支援ネットワークの歴史

年次	内容	備考
2001年 (H13)		・就業・生活支援準備センター開所
2003年		・支援費制度施行
2004年 (H16)	保健所の精神保健福祉関係機関連絡会にてハローワーク茨木と大阪障害者職業センター、就業・生活支援センターが連絡会参加機関と「ジョブガイダンス事業」「グループ就労事業」を実施。精神障がいのある方への就労支援のネットワークが形成される。	
2005年 (H17)	高槻地域生活支援センターと就業・生活支援センターで就労支援ネットワークのあり方を検討し、当時就労支援について検討されていたサニースポットにも参加を依頼し、連携について検討する。	・ジョブコーチ助成金制度創設
2006年 (H18)	障害者就労支援実務者連携協力会 ・共同での職場開拓、共通名刺などを検討	<ul style="list-style-type: none"> ・就業・生活支援センターが国制度に移行 ・自立支援法施行 ・就労移行事業化 ・精神障がい者雇用率算定
2007年 (H19)	就労をなんとかしよう会 広く有志を募り就労支援の勉強会実施	・福祉から雇用へ推進 5か年計画初年度
2008年 (H20)	たかつき・しまもと障がい者就労支援ネットワーク発足（3月） ・途中から大阪府障害者就労支援ネットワーク構築事業を利用	
2012年 (H24)	（13年3月）財源だったネットワーク構築事業が終了	
2013年 (H25)	財源がなくなったが、地域の情報交換やワーキングチーム方式を取り入れた活動を継続	就労移行定着支援加算開始
2014年 (H26)	就労支援基礎講座（連続講座）が開始	

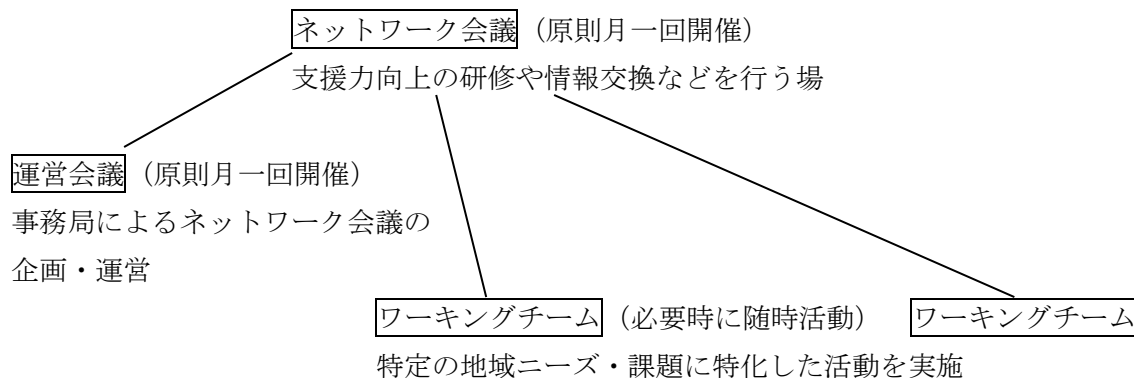
2016年 (H28)	第100回たかつき・しまもと就労支援ネットワーク会議と、就業・生活支援センター創設10周年記念講演会を同時開催	
2017年 (H29)	ワーキングチームの活動が活性化。7つのワーキングが活動	
2018年 (H30)	高槻・島本の就労移行支援事業所が2ヶ所増え、計9ヶ所になる	精神障がい者雇用義務化 就労定着支援事業開始
2019年 (R1)	高槻・島本の就労移行支援事業所が2ヶ所減り、計7ヶ所になる	

○就労支援ネットワークのキーワード

- 1 バトンタッチ型からネットワーク型の支援へ
 - ・ここから担当支援機関が変わりますという形から連携して支援していく形へ
- 2 立場の違いを十分に認識する
 - ・他機関の得意分野、不得意分野を知る
 - ・制度の限界を知る
 - ・所属機関の状況を周知する（得意分野、不得意分野を伝える）
- 3 ネットワークは重層的に存在する



○就労ネット組織図



○2019 (R1) 年度のまとめ

2008年3月に発足した、たかつき・しまもと障がい者就労支援ネットワーク（以下、就労ネット）は、参加者の熱意によって2019（R1）年度もこれまで通り、原則月に一度会議を開き活動を続ける事ができた。

そして、立ち上げ当初からの仮設

「 地域に就労支援に精通した支援者が多ければ多いほど、その地域の就労支援は充実したものとなり、就労を望む障がいのある方の希望を実現できるのではないか 」

をもとに、毎月の会議を中心にして以下の取り組みを行なった。

- ・5月 2018（H30）年度 ネットワーク会議の振り返りとワールドカフェ
- ・6月 入社3年目職員の発表
- ・7月 就労移行支援事業所アピール合戦（各事業所の地域で担いたい役割）
- ・8月 懇親会（松坂屋ビアガーデン）
- ・9月 N-1 グランプリ
- ・10月 作業療法士の就労支援の視点
- ・11月 発達障害の支援と機関連携
- ・12月 精神発達サポーター養成講座と合理的配慮について
- ・1月 ソリューション・フォーカスト・アプローチから学ぶ面談と関わりの仕方
- ・2月 高槻市障がい者就業・生活支援センター運営協議会（コロナ感染症予防で中止）

- ・毎月の会議で、10分トークによる地域支援者からの情報発信・情報共有
- ・ワーキングチームによる活動
- ・障害のある人の就労とライフプランについて（コロナ感染症予防で中止）

～親亡き後、お金で困らないためにできることを考える～

以上の取り組みは、大別すると以下の三つに分類されたと考える

1 支援力向上に向けた取り組み

仮説を実行する為に支援力向上に向けた取り組みを行ったが、支援力と一言でいっても、

「① 就労支援の知識・スキルアップ」 と

「② 福祉専門職として基礎力アップ」

に分けて考える事ができ、就労ネットでは両方の取り組みを行っている。

①就労支援の知識・スキルアップ

就労支援の知識やスキルを学ぶ事を活動の中心として、先駆的な取り組みをしている講師を招いたり、高槻・島本地域の就労支援の情報共有をしたりした。そこで得た知識は、より良い支援と連携に役立つものと思われる。

「就労移行支援事業所アピール合戦」 「作業療法士の就労支援の視点」

「発達障害の支援と機関連携」

「精神発達サポーター養成講座と合理的配慮について」

「ソリューション・フォーカスト・アプローチから学ぶ面談と関わりの仕方」

②福祉専門職としての基礎力アップ

障がい者就労支援を担う者には、土台に福祉専門職の力が必要であり、その基礎力アップの研修も行った。

就労支援は連携が必要である為、就労ネットも門戸の広いネットワークとしているが、生活支援機関・医療機関からの参加者が増え、就労支援機関と生活支援機関、医療機関等との連携・協働とネットワーク作りのきっかけとなる効果も期待される。

「入社3年目職員の発表」

2 連携とネットワーク構築のさらなる工夫

参加者全員でネットワーク維持・存続に取り組める様な工夫を行った。

① 会議のテーマ自体を連携・ネットワークとした。

「N-1 グランプリ」

就労支援ネットワークのグランプリを決める全国大会。就労ネットが主催となり開催（共催 全国就業支援ネットワーク）。全国から6つの就労支援ネットワーク集まりプレゼンテーションを行った。参加者は、北は秋田県、南は鹿児島県から112名となりおそらく全国初の取り組みながら就労支援ネットワークへの関心の高さが窺えた。

他に

「2018（H30）年度 ネットワーク会議の振り返りとワールドカフェ」

「高槻市障がい者就業・生活支援センター 運営協議会」（コロナ感染症予防で中止）

② 連携が深まる会議になる様な工夫をした

- ・ほぼ毎回グループディスカッションの実施。グループもくじ引きで決めた。
- ・地域の情報発信の10分トークをくじ引き等で決めた
- ・女子部による懇親会等の実施

ネットワークのあり方や状況を知識として得る事に加え、ネットワーク会議という名の通り、講義形式だけではなく、参加者同士で話し合う機会や発表する機会を積極的に設け

ている。参加者の交流が深まり、現場での連携・支援にも役立っていると思われる。

そしてさらには、地域のニーズや課題を一緒に考えたり、共有したりする重要な機会となっている。

3 地域のニーズや課題への取り組み

他機関連携・ネットワークが深まる中で、見えてくる地域の様々なニーズや課題に、ネットワーク軽く取り組める様に毎月の会議に加え、ワーキングチーム等が活動している

① 障害のある人の就労とライフプランについて（コロナ感染症予防で中止）

～親亡き後、お金で困らないためにできることを考える～

主催は高槻市と高槻市障がい者就業・生活支援センターで就労ネットは協力団体として積極的に関わり実行スタッフの中心メンバーを担って準備をしていた。今年度で5回目の開催予定だったがコロナ感染症予防で中止となった。

② ワーキングチームの活動 別紙活動報告参照

- ・就労支援基礎講座ワーキング
- ・精神ワーキング
- ・就労移行サビ管ワーキング
- ・就労継続B型ワーキング
- ・企業ワーキング
- ・就労者交流ワーキング
- ・(女子部)

最後に

就労ネットは各支援機関・各支援者が支援知識を得られる支援力向上の場となっている。さらに就労ネットの存在で連携・協働が促進・維持されており、高槻・島本地域の就労支援に必要な社会資源として定着してきた12年の歴史がある。計10回の会議参加者は述べ332名となり任意の会ながら地域の就労支援の中心となるネットワークとなっている。

全国発の大会のN（ネットワーク）-1グランプリを9/14に高槻で開催。主催の為エントリーは出来なかったが、グランプリになった福島県就業支援ネットワークとは姉妹ネットワーク提携をしており非常に喜ばしい結果であった。その後、福島は台風被害があった為、その義援金を募るなどの連携を深める活動も行った。

この様な全国的な取り組みを行ったが、高槻市内では10年以上精神障がい者と知的障がいの支援を担ってきた就労移行支援事業所の2か所が閉鎖した。さらに年度末には新型コロナウイルス感染症の為、就労ネットの会議等も中止される事態となった。

新型コロナウイルス感染症の影響はまだ計り知れないものがあり、産業構造や働き方にも多大な影響を与え、障がいの働く業種や働き方も変化し、我々の支援の在り方もその変化に対応する必要がある。この様な時こそ改めて、立ち上げ当初からの仮設「地域に就労支援に精通した支援者が多ければ多いほど、その地域の就労支援は充実したものとなり、就労を望む障がいのある方の希望を実現できるのではないか。」に立ち戻り、2020年度も就労を望むご本人の希望実現の為に、より良い連携・協働による新たな実践を積み重ねていきたい。

令和元年度 たかつき・しまもと障がい者就労支援ネットワーク事業報告

名 称:	第 6 回就労支援基礎講座ワーキング												
目 的:	1. 就労支援経験の浅い支援者のスキルアップ向上を目指す 2. 地域の支援者同士の横のつながりをつくり、よりよい連携を図る												
メンバー:	リーダー ジョブジョイントおおさか たかつきランチ 本部 サブリーダー 高槻市障がい者就業・生活支援センター 田淵 メンバー ワークスポット 森、ワーク事業所 岸本 高槻市障がい者就業・生活支援センター 陸野												
実 績:	<p>【打合せ】 ※計 5 回 5 月 27 日(月)・6 月 10 日(月)・7 月 8 日(月)・7 月 31 日(水)・8 月 26 日(月)</p> <p>【第 6 回就労支援基礎講座 開催】 ※延べ 54 名参加 内訳</p> <table border="0"> <tr> <td style="border-left: 1px solid black; padding-left: 10px;">8 月 28 日(水)</td> <td>第 1 回目</td> <td>13 名参加</td> </tr> <tr> <td style="border-left: 1px solid black; padding-left: 10px;">8 月 30 日(金)</td> <td>第 2 回目</td> <td>19 名参加</td> </tr> <tr> <td style="border-left: 1px solid black; padding-left: 10px;">9 月 4 日(水)</td> <td>第 3 回目</td> <td>13 名参加</td> </tr> <tr> <td style="border-left: 1px solid black; padding-left: 10px;">9 月 6 日(金)</td> <td>第 4 回目</td> <td>9 名参加 講座終了後懇親会</td> </tr> </table> <p>第 1 回目…就労支援者としての心構え・ジョブコーチの就労支援プロセスの講義 第 2 回目…ご本人と職場のアセスメントとジョブマッチングに重点をおいた講義 (精神疾患・発達障がいにて化) 第 3 回目…仕事の指導やナチュラルサポートの形成など就労の現場支援に重点をおいた講義 第 4 回目…就労支援の社会資源とネットワークについての講義 支援を受けながら働いている当事者の方の体験発表</p> <p>【10 月 24 日(木) 講座の振り返り】</p> <p>▼結果 昨年度もジョブコーチの支援プロセスに沿って講座を構成したところ、全体を通して概ね好評だった。また、就労支援機関だけではなく、支援学校の先生方にも参加して頂くことができ、地域のつながり作りという意味で様々な方に参加して頂けたことは良かったと思う。一方で、講義後のシンポジウムの段取りの悪さや講義時間が短いなどのご意見も頂き、運営側の進行や講座全体の構成(講義時間や回数など)を検討していく必要があると感じた。</p>	8 月 28 日(水)	第 1 回目	13 名参加	8 月 30 日(金)	第 2 回目	19 名参加	9 月 4 日(水)	第 3 回目	13 名参加	9 月 6 日(金)	第 4 回目	9 名参加 講座終了後懇親会
8 月 28 日(水)	第 1 回目	13 名参加											
8 月 30 日(金)	第 2 回目	19 名参加											
9 月 4 日(水)	第 3 回目	13 名参加											
9 月 6 日(金)	第 4 回目	9 名参加 講座終了後懇親会											
計 画:	可能なら 8 月に開催したいが、現在は開催時期、開催方法は未定 地域の就労支援力の土台の部分を担当基礎講座なので継続していきたい												

障がい者就労支援ご担当者・関係機関 各位

たかつき・しまもと障がい者就労支援ネットワーク
就労支援基礎講座ワーキングチーム**就労支援基礎講座のご案内**

初夏の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

たかつき・しまもと障がい者就労支援ネットワークは原則毎月第3木曜日にネットワーク会議を開催し様々な取り組みを行っています。この度はその取り組みの一環として、就労支援基礎講座を下記の通り行いたいと思っておりますので、ご案内いたします。

就労支援の講座ですが、企業の方や生活支援機関や医療機関の方でもご参加可能です。就労支援には直接携わってなくても、よりよい連携の為にご参加をお待ちしています。

また基礎講座とはなっていますが、就労支援のご経験ある方の参加もお待ちしています。

1. 日 時 : **令和元年8月28日(水)・30日(金)・9月4日(水)・6日(金)**
16時30分から19時00分頃まで、計4回講座

2. 場 所 : **ジョブジョイントおおさか たかつきランチ 1階**
高槻市京口町9-3 関西産業ビル1階 TEL 072-668-1123
※ 駐車場はございませんので公共交通機関をご利用ください。

3. 内 容 :

	講義内容・講師
第1回目 8/28(水)	「就労支援者としての基礎知識」 総合支援センターさくら 今井 司氏 「就労支援プロセスについて」 大阪職業センター 大島 健一氏 「グループディスカッション」
※第2回目 8/30(金)	「精神疾患とストレス」 新阿武山病院 中西 幹平氏 「発達障害の方の就労支援・職場のアセスメント」 ジョブジョイントおおさか たかつきランチ 星明 聡志氏
※第3回目 9/4(水)	「仕事の指導・システマティックインストラクション」 LITALICO ワークス 澁谷 翔氏 「ナチュラルサポートの形成・会社の方に対する環境調整」 高槻市障がい者就業・生活支援センター 森川 晶平氏
第4回目 9/6(金)	「就労支援の社会資源とネットワークについて」 高槻市障がい者就業・生活支援センター 陸野 肇氏 「当事者の体験談発表」(訓練中の方・就労されている方) 「グループディスカッション」 ※終了後、懇親会を予定(希望者のみ) 詳細につきましては、講座開始後にご案内させていただきます。

※は講義後に2名の講師によるシンポジウムがあります。

4. お問合せ先 : **高槻市障がい者就業・生活支援センター 田淵・陸野**

TEL 072-668-4510 FAX 072-668-4530

令和元年度 たかつき・しまもと障がい者就労支援ネットワーク ワーキングチーム報告

名 称:	精神ワーキング
目 的:	より良い就労支援と精神科医療・福祉との連携協働を考える
メンバー:	リーダー 就ポツ 陸野、サブリーダー こうあいCL 播本 医療、福祉、就労支援機関等、合計 22 機関がメンバー こうあいクリニック、星のクリニック、新阿武山病院、新阿武山クリニック、アットホーム訪問看護st高槻、訪問看護stころ、大阪・京都ころの発達研究所 葉、保健所、高槻市社会福祉協議会、地域若者サポートステーション、芝生事業所、芥川事業所、工房事業所、やまと茶房、ステップ、ワーク事業所、LITALICO ワークス、フォルツァ、はな、D キャリア、カラフル高槻、就ポツ
実 績:	<p>I：月1回の例会</p> <p>① 情報交換・共有、② 相談コーナー、③ プロジェクトの報告</p> <p>II：プロジェクト</p> <p>① デイケア見学P リーダーフォルツァ田中、サブ 就ポツ 森川 6/24 オレンジホスピタル、2/12 新阿武山病院で実施 名称の見学にとどまらずプログラムの一つとして利用者との交流・情報交換を実施</p> <p>② 「働く」を考える会P リーダー こうあいCL播本、サブ 星のクリニック 宮城 12月7日こうあいCLで実施。当事者3名+企業2社体験談発表 + Gディスカッション 約40名参加</p> <p>③ トークカフェP リーダー 就ポツ 陸野、サブ LITALICO ワークス畑中 セルフグループの一助としてカフェコモンズにて交流会を開催。 6/22、9/21、12/7 毎回10名以上が参加 3/21はコロナ感染症の予防で中止</p> <p>④「当事者研究」研究P リーダー アットホーム訪問看護st 吉本 目的:働く事に関する当事者研究を研究する 毎月第4金曜日にアットホーム訪問看護ステーションにて実施。毎回10名程が参加 試行的に高槻就ポツで第2金曜日に2回実施</p> <p>⑤社適P リーダー 就ポツ 陸野 星のクリニック、フォルツァの利用者の2名が訓練を受けた</p> <p>⑥デイケア体験実習P ワーキング参加事業所にスタッフが実習に行く。実施なし</p> <p>⑦日本職業リハビリテーション学会 精神ワーキングの取り組みの一部を発表</p> <p>⑧日本精神障害者リハビリテーション学会 当事者研究研究Pがポスター発表</p>
計 画:	新型コロナウイルス感染症の予防の為、例会等を中止しているが、リーダーを検討しながら上記プロジェクトの継続実施

令和元年度 たかつき・しまもと障がい者就労支援ネットワーク事業報告

名 称:	サービス管理責任者ワーキング
目 的:	「質の高い個別支援計画を利用者に届けるために」 1. サービス管理責任者がスキルアップできる仕組みを作る 2. サービス管理責任者同士が情報を共有できる場を作る
メンバー:	リーダー 渡辺(芥川事業所)・佐伯(ワークスポット)・嶋田(フォルツァ)・丸山(リタリコ)・陸野(就ポツ)
実 績:	<p>■ミーティング</p> <p>日 時:令和2年2月6日(木)16:30~18:00</p> <p>参加者:5名</p> <p>内 容:関連情報、課題の共有</p> <p>■反省点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ミーティングの開催が1回のみ。 ・今年度の計画を実行することができなかった。
計 画:	<p>「課題」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度よりサービス管理責任者の新たな研修制度が創設された。初任者研修、実践研修、更新研修など、研修制度が複雑になったこともあり正確かつ効率的に情報を取得し、新たな研修制度に対応していく必要がある。 ・法人内で複数のサービス管理責任者が在籍している場合は、職場内での情報交換や課題の共有などが比較的行いやすい。しかし、規模の小さい法人であれば、法人内におけるサービス管理責任者の在籍人数が1人という場合もあり情報等の共有が難しい。 <p>「今年度の計画(案)」</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. サービス管理責任者がスキルアップできる仕組みを作るために <ul style="list-style-type: none"> ・サービス管理責任者を対象とした勉強会の開催 2. サービス管理責任者同士が情報を共有できる場を作るために <ul style="list-style-type: none"> ・サービス管理責任者同士のネットワーク構築 3. 昨年度より始まった就労定着支援事業について <ul style="list-style-type: none"> ・制度だけではフォローできない課題に対して、サビ管の立場で検討する機会

令和元年度 たかつき・しまもと障がい者就労支援ネットワーク事業報告

名 称:	就労継続支援 B 型事業ワーキング
目 的:	<ol style="list-style-type: none"> 1. 就労継続支援事業から一般就労への道筋を確立するとともに支援者のスキルアップを目指す 2. 多様な働く場を創出する 3. 障がいのある人たちの経済的自立を目指す
メンバー:	<p>リーダー たかつき・しまもと障がい者就労支援ネットワーク 今井</p> <p>メンバー 社会福祉法人 明星福社会 渡辺</p> <p>※メンバー募集中です。</p>
実 績:	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地元中学校区 PTA、発達に課題のある子どもの保護者の集まりをはじめ、詩吟教室などに山手一番街 café fika を貸しました。(地域の人びとのつどいの場所) 2. 高槻市民間社会福祉施設連絡会あんしんねっとあゆむ から山手一番街 café fika に対して、共生型子ども食堂整備予算の執行を行っていただき冷蔵庫などを設置しました。 3. 清掃事業に特化した連携グループを立ち上げました。 4. 障がい者アート事業の立ち上げが出来なかったが、高槻市アート博覧会に共同出展が出来ました。 5. 重度の身体障がいのある人たちの「働く」を創り出すためにプロジェクトを立ち上げましたが課題があるため現在、再考中です。 ※珈琲の搾りかすを活用した消臭剤製造(将来的には肥料製造)プロジェクト 6. ミーティングが開催できなかった。
計 画:	<ol style="list-style-type: none"> 1. 山手一番街 café fika の活用 各事業所にご協力をいただきながら自主製品の代理販売を行います。 2. 令和元年度に出来なかった みんなのあーと事業の立ち上げを行います。 ※障がいのある人達が楽しみながら自由に表現して生まれたイラストや絵画、作品をホームページで発信 3. 農福連携事業に取り組んでいきます。
そ の 他:	<ol style="list-style-type: none"> 1. 山手一番街 café fika にて職場体験事業を検討します。

令和元年度 たかつき・しまもと障がい者就労支援ネットワーク事業報告

<p>名 称:</p>	<p>企業ワーキング</p>
<p>目 的:</p>	<p>1. 課題認識 平成 30 年より法定雇用率のアップと精神障害者の雇用義務化 企業における雇入れは増加するが、採用や定着においてミスマッチ増加の可能性もある 障がい者雇用が「ポジティブな雇用」として認識されていないのではないか</p> <p>2. 目指したいカタチ 障がい者雇用による相乗効果(二次的効果)が社会に浸透していく 企業が主体的に障がい者雇用を課題解決するチカラがつく 支援者は、より難易度の高い雇用相談への対応が可能になる</p>
<p>メンバー:</p>	<p>リーダー ジョブジョイントおおさか:星明、サブリーダー 就ポツ:陸野 育成福祉会:今井、ワークスポット:小田、就ポツ:大橋 ジョブジョイントおおさか:釜井、寺谷</p>
<p>実 績:</p>	<p>1. 5月15日 第5回意見交換会@たかつきランチ 参加者:10名 2. 6月17日 意見交換会(拡大版)@たかつきランチ 参加者:21名 3. 11月25日 第6回障がい者雇用セミナー@たかつきランチ 参加者:6名 4. 2月25日 第7回障がい者雇用セミナー13名申込み → 延期(感染拡大防止のため)</p>
<p>計 画:</p>	<p>1. 意見交換会 対象:企業の担当者 企業同士の意見交換の場 企業同士のつながりをつくる よき社会資源となることを目指す</p> <p>2. 勉強会 対象:障害事業所の支援者 企業支援における人材育成 勉強会、ディスカッション 企業支援における事例検討</p> <div data-bbox="820 1400 1430 1783" style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 20px;"> <pre> graph TD A[企業ワーキング] --> B[意見交換会] A --> C[勉強会] </pre> <p>意見交換会</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 対象:企業の担当者 ➢ 企業同士の意見交換の場 ➢ 企業同士のつながりをつくる ➢ よき社会資源となることを目指す ➢ →雇用相談の窓口は就ポツとする <p>勉強会</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 対象:障害事業所の支援者 ➢ 企業支援における人材育成 ➢ 勉強会、ディスカッション ➢ 企業支援における事例検討 ➢ →企業支援をテーマ <p style="font-size: small; text-align: center;">Copyright © たかつきしまもと障がい者就労支援ネットワーク All Rights Reserved 6</p> </div>

令和元年度 たかつき・しまもと障がい者就労支援ネットワーク事業報告

名 称	就労者交流ワーキング「働いている障がい者達の交流会」
目 的	就労している人達、就職を目指す人たちの交流する機会を提供する
メンバー	リーダー 社会福祉法人つながり ワークスポット 鳴瀬 たかつき・しまもと障がい者就労支援ネットワーク事務局 今井 高槻市障がい者就業・生活支援センター 宮崎 三島地域若者サポートステーション 安岡 LITALICO ワークス高槻 呉
実 績	<p>●主催 高槻市民間社会福祉施設連絡会 あんしんねつとあゆむ推進委員会 協力 たかつき・しまもと障がい者就労支援ネットワーク</p> <p>●実施実績</p> <p>第1回 7月26日(金)「職場で好印象を与えるメイク講習」 第2回 10月25日(金)「ハーバリウム作り」 第3回 12月23日(月)「おいしいコーヒーの淹れ方」 ※新型コロナウイルスの流行で、2月に予定していた交流会は中止</p> <p>●実施内容</p> <p>内 容 講師を招いての体験講座＋懇親会 時 間 13:30～14:30 場 所 高槻阪急(西武百貨店)6階 社会福祉協議会相談室 対 象 者 働いている、もしくは働く準備をしている障がいのある当事者 と その支援者 定 員 先着順 4組まで</p>
報告と課題	<p>●就職している方・目指す方の悩みや頑張っていること、家での過ごし方などを話す相談・交流の場として開催。今年度は「就職マナー」「余暇の過ごし方」をテーマに毎回講師の方をお呼びし、体験講座を実施した。体験を通して参加者がリラックスし、その後の懇親会でも会話に積極的に参加する様子がみられた。講師の方から参加者に助言をいただくこともあり、参加者間だけでなく社会とのつながりという効果も感じられた。</p> <p>●昨年に引き続き、社会福祉協議会相談室の有効利用が目的でもあるため、実施時間帯に制限があり就労者の参加が難しかった。</p> <p>●内容については、今後も予算を有効活用できるよう話し合っていく。下記参照。</p>
計 画	●新型コロナウイルス感染拡大を受け、相談室が使えない状況。オンラインでの相談・情報発信のほか、屋外でのカメラ講座を企画中。そのときの状況と当事者のニーズに合わせて柔軟に対応していく。
その他	内容についてご意見やご要望をお待ちしています。

マスク・リレー

必要のないマスクを必要なひとへ
あなたの思いが誰かの役に立つ

そろそろマスクも市場に出まわりはじめています。しかし、まだまだマスクを必要とする、こどもやひとがいらっしやいます。

あなたの必要のないマスクをあなたの思いと共に必要とするひとへお届けします。

※勝手ながら未開封・未使用の物に限ります。

ご寄付頂ける方へ

受付期間 2020/5/〇(〇)～2020/6/〇(〇)

下記の場所に設置している「マスクポスト」にお入れください。

- ○○○○○○○○○○○○○○○○ 高槻市○○○○ tel 072-000-0000
- ○○○○○○○○○○○○○○○○ 高槻市○○○○ tel 072-000-0000
- ○○○○○○○○○○○○○○○○ 高槻市○○○○ tel 072-000-0000